

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
どよろしくお願い申し上げます。

敬白

### 記

■ 実施日 2019年7月1日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
R608 1	<b>曜日指定</b> フローサイト クロスマッチ (リンパ球交差試験) 5K210-0000-019-662	受給者 血液 2.0 提供者 血液 7.5	受給者 S7P 提供者 PAR (B1)	室温 (2日)	3~5		フローサ イトメ トリ	B細胞 2.00未満 T細胞 1.50未満	<b>重凍</b> 下記参照

凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。血液以外の材料は受託できません。  
必ず専用依頼書を用いて、疑陽性反応を示すリツキシマブ(リツキシサン)およびThymoglobulin投与の有無と移植(予定)日、  
受給者の臨床診断名、妊娠歴、輸血歴、受給者と提供者との続柄、受給者と提供者の性別、年齢を漏れなく記載しご依頼くだ  
さい。  
受給者用検体と提供者用検体を必ずペアでご提出ください。  
検体は採取後、当日中にご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。

## ● フローサイトクロスマッチ（リンパ球交差試験）

移植の実施/断念、脱感作療法の要否、抗体関連型反応の診断等に用いる検査です。

臓器移植においてレシピエントがドナー特異的HLA抗体（donor specific antibody：DSA）を保有していると抗体関連型拒絶反応（AMR）を発症するリスクが高いことが知られていることから、移植前にレシピエントにおけるDSAの有無を測定することは免疫拒絶のリスクを回避するために重要です。本項目は、従来より行われている細胞障害性試験（LCT）に比べ、高感度にDSAとドナー非特異的HLA抗体（non-donor specific antibody：NDSA）を検出することが可能な検査です。

### ▼疾患との関連

臓器移植

### ▼関連する主な検査項目

抗HLA抗体（スクリーニング検査）

### ▼検査要項

検査項目名	<b>曜日指定</b> フローサイトクロスマッチ（リンパ球交差試験）
項目コードNo.	R608 1
検体量	受給者 血液 2.0mL 提供者 血液 7.5mL
容器	受給者 S7P プレーン管 提供者 PAR (B1) ACD-A保存液入り
保存方法	室温保存してください
所要日数	3～5日
検査方法	フローサイトメトリー
基準値	B細胞 2.00未満 T細胞 1.50未満
検査実施料	
判断料	
備考	<b>重凍</b> 凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。血液以外の材料は受託できません。必ず専用依頼書を用いて、疑陽性反応を示すリツキシマブ（リツキシサン）およびThymoglobulin投与の有無と移植（予定）日、受給者の臨床診断名、妊娠歴、輸血歴、受給者と提供者との続柄、受給者と提供者の性別、年齢を漏れなく記載しご依頼ください。受給者用検体と提供者用検体を必ずペアでご提出ください。検体は採取後、当日中にご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。

容器形態	検体の取り扱い方法
 <p>PAR 旧容器番号 B1</p> <p>ACD-A 保存液入り</p> <p>内容 ACD-A 保存液 貯蔵方法 室温 有効期間 製造から1年 (アルミ包装 開封後1ヶ月)</p>	<p>指定の採血量を採血し、左図の容器に注入し、よく混和させ、室温保存してください。</p>

### ●参考文献

石塚 敏：日本組織適合性学会誌 20（2）：121～129，2013。（検査方法参考文献）  
吉澤 淳：日本組織適合性学会誌 24（2）：134～142，2017。（臨床的意義参考文献）